

地域とのかかわり ～理科実験教室「火山と防災について学ぼう」～

9月7日（月）、三岳小学校の川上先生を講師にお迎えし、理科実験教室を開催しました。

今回は高等部に加え、中学部の生徒も参加し、「火山と防災」をテーマに学習しました。

授業では、まず最近各地で発生している自然災害について確認し、防災・減災のために自分たちにできることについて考えました。さらに、私たちの地域にある御嶽山が活火山であり、いつ噴火が起こるか分からない火山であることについて学びました。

今回は、御嶽山火山マイスターの池田先生、池井さん、西川さんにもお越しいただき、火

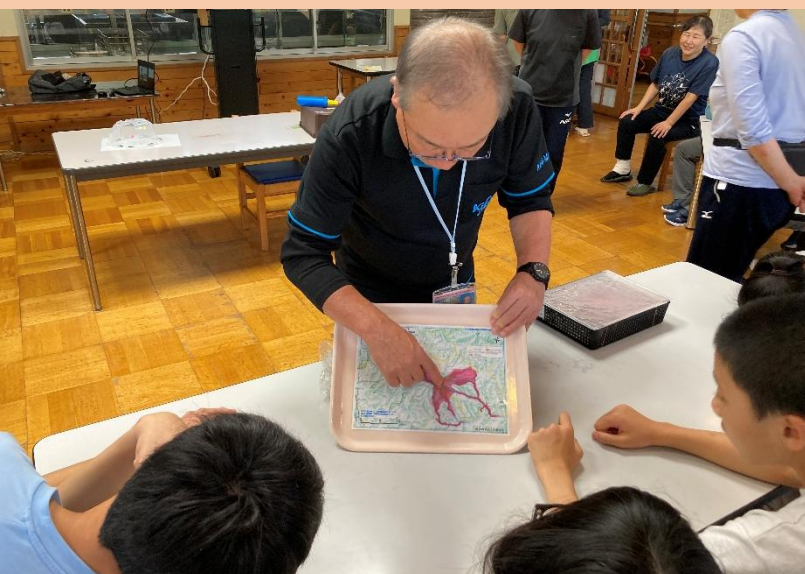
山について詳しく教えていただきました。

「御嶽山の中はどうなっているのかな？」

という問いかけから、マグマの仕組みや噴火が起こる理由について理解を深めました。

実験では、炭酸飲料をマグマに見立て、メントスを入れることで噴火のエネルギーを再現しました。勢いよく吹き出す様子に、生徒たちは驚きながらも興味深く観察していました。





さらに、御嶽山周辺の地形を再現したゼリー模型を使い、溶岩流の広がり方を調べる実験も行いました。チョコレートソースを溶岩流に見立てて流すと、地形に沿って危険な地域へ広がっていく様子を確認することができ、火山災害への理解を深めることができました。



実験の後には、模型として使用した桃味のゼリーをみんなでおいしくいただきました。楽しみながら火山の仕組みや防災について学ぶことができ、大変充実した理科実験教室となりました。

川上先生をはじめ、御嶽山火山マイスターの池田先生、池井さん、西川さんには、貴重なお話や実験を通して多くのことを教えていただきました。お忙しい中ご来校いただき、誠にありがとうございました。

